

政策名	4環境にやさしい港		責任者	港営部 プレジャーボート対策担当 課長	連携担当課
基本施策名	06秩序ある港湾環境づくり				
個別施策名	20放置艇対策を推進する		連絡先	052-654-7814	
事務事業名	02プレジャーボート係留保管の適正化				

1 PLAN(目的・概要)

目的	プレジャーボートを適正に係留保管できるようにします。	事業期間	平成13~24年度
概要	放置等の状態にあるプレジャーボートについて、係留保管の適正化を図るため、地域の実情を踏まえた規制内容の条例を制定します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	他港調査結果を整理し、条例化に向けて関係機関との調整等を行い、条例の骨子案の作成作業を進めています。平成22年度も、平成21年度と同様な作業を進めていきます。							
活動指標	年度	19	20	21	22	最終目標	24	備考(指標の算定方法など)
関係機関や利用者等と合意形成に向けた調査・調整回数	単位	目標	-	-	-	-	-	合意形成への調査・調整回数を判断の指数とします。
	回	実績	2	2	2			
事業費	単位	目標						
		実績						
人員 正規職員	単位	千円	171	71	23	152		
		人	0.40	0.40	0.40	0.40		
嘱託職員	単位	千円	3,474	3,508	3,433	3,511		
		人						
事業費・人件費の合計		千円	3,645	3,579	3,456	3,663		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	最終目標	24	備考(指標の算定方法など)
条例制定への進捗率	単位	目標	10	15	20	25 (累計)	100	条例制定への進捗率を判断の指数とします。
	%	実績	5	10	15			
	達成率(%)		50.0	66.7	75.0			
観点	単位	目標						現状の「見える化」
		実績						
	達成率(%)							
必要性	組合関与の必要性	有・無	有・無	他港調査を参考にし、名古屋港の実情に合った条例の骨子案を作成するため、今以上の関係機関等との調整をする必要があります。				その他特記事項
	目的・水準の妥当性	有・無	有・無					
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・無	有・無					
	成果の達成度	有・無	有・無	概ね、成果の目標を達成しています。				
効率性	内容の妥当性	有・無	有・無					
	実施主体の妥当性	有・無	有・無					
	受益者負担の適正性	有・無	有・無	概ね、目標を達成しています。				
	経済性	有・無	有・無					

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			ボートパークⅡ期の供用に合わせ、放置艇対策を強化するために必要であるため。
		維持		○	
縮小					
	縮小	維持	拡大	コスト	
今後の取組内容		ボートパークⅡ期の供用に合わせ、係留保管の適正化を図るため、関係機関等と具体的な内容の検討を進めます。			
・改善策 ・スケジュールの建て直し等					